

特別活動【学校行事】－3（第5学年） 体験したことをまとめ、伝え合う力を育成する事例
【学習活動の概要】

1 遠足・集団宿泊的行事	集団宿泊教室を有意義な活動にしよう													
2 目標	<p>自然の中での集団宿泊活動を通して、自然や文化に親しむとともに、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、互いを思いやり、ともに協力し合い、支え合うなどの望ましい人間関係を築く態度を育てる。</p>													
3 評価規準	<p>【集団活動や生活への関心・意欲・態度】 自然や文化に関心をもち、互いに協力し、支え合って積極的に集団宿泊的行事に参加しようとしている。</p> <p>【集団の一員としての思考・判断・実践】 様々な活動の中で、困難や課題に対し解決していくための行動の在り方について考え、判断し、仲間とともに協力して実践している。</p> <p>【集団活動や生活についての知識・理解】 集団宿泊的行事の意義や目的、校外における集団生活の在り方や公衆道徳などについて理解している。</p>													
4 活動の概要	<p>本活動は、少年自然の家での二泊三日の集団宿泊活動を通して、自然に親しませるとともに、集団行動における規律、協力、助け合いの心を育て、よりよい人間関係を築くことを目的として行っている。活動内容としては、金峰山の山登り、森林でのウォークラリー、ナイトハイク、山越えの8キロハイキング、キャンドルの集い等が組み込まれている。また、常に5分前行動を原則とし、食事、入浴等も厳しい規律の中で行う活動である。</p>													
5 活動の実際	(1)活動の計画													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="159 1176 271 1243"></th> <th data-bbox="271 1176 957 1243">主 な 活 動 内 容</th> <th data-bbox="957 1176 1420 1243">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="159 1243 271 1388">事前の活動</td> <td data-bbox="271 1243 957 1388"> <ul style="list-style-type: none"> ○集団宿泊活動の意義や目的について理解する。 ○集団宿泊活動での自分の目標を設定する。 ○キャンドルの集いでの出し物について話し合いを行う。 </td> <td data-bbox="957 1243 1420 1388"> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句や川柳の作り方を知らせる。 ・全員がアイディアを出し合い、グループとしての考えを一つにまとめるさせる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1388 271 1523">話し合い活動</td> <td data-bbox="271 1388 957 1523"> <ul style="list-style-type: none"> ○山登り、森林ウォークラリー、ナイトハイク、ハイキング、キャンドルの集いを協力してやりとげる。(途中、感動を俳句や川柳に表す) ○その日の感想をしおりの中に日記として書く。 </td> <td data-bbox="957 1388 1420 1523"> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句や川柳をしたためた短冊や、就寝前に各自で書いた日記は、しおりに綴って残しておくようにさせる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1523 271 1702">事後の活動</td> <td data-bbox="271 1523 957 1702"> <ul style="list-style-type: none"> ○体験したことを振り返り、感動したことなど集団宿泊活動の感想を文章にまとめる。 ○まとめた文章をもとに、活動グループの中で、互いに感動したこと、仲間への思いや感謝などを発表し合う。 </td> <td data-bbox="957 1523 1420 1702"> <ul style="list-style-type: none"> ・「感動したこと」、「感謝したこと」、「学んだこと」についてキーワードを書き出させ、それをもとに文章にまとめ、思いを込めて伝え合いをさせる。 </td> </tr> </tbody> </table>		主 な 活 動 内 容	言語活動に関する指導上の留意点	事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○集団宿泊活動の意義や目的について理解する。 ○集団宿泊活動での自分の目標を設定する。 ○キャンドルの集いでの出し物について話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句や川柳の作り方を知らせる。 ・全員がアイディアを出し合い、グループとしての考えを一つにまとめるさせる。 	話し合い活動	<ul style="list-style-type: none"> ○山登り、森林ウォークラリー、ナイトハイク、ハイキング、キャンドルの集いを協力してやりとげる。(途中、感動を俳句や川柳に表す) ○その日の感想をしおりの中に日記として書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句や川柳をしたためた短冊や、就寝前に各自で書いた日記は、しおりに綴って残しておくようにさせる。 	事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○体験したことを振り返り、感動したことなど集団宿泊活動の感想を文章にまとめる。 ○まとめた文章をもとに、活動グループの中で、互いに感動したこと、仲間への思いや感謝などを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「感動したこと」、「感謝したこと」、「学んだこと」についてキーワードを書き出させ、それをもとに文章にまとめ、思いを込めて伝え合いをさせる。 	
	主 な 活 動 内 容	言語活動に関する指導上の留意点												
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○集団宿泊活動の意義や目的について理解する。 ○集団宿泊活動での自分の目標を設定する。 ○キャンドルの集いでの出し物について話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句や川柳の作り方を知らせる。 ・全員がアイディアを出し合い、グループとしての考えを一つにまとめるさせる。 												
話し合い活動	<ul style="list-style-type: none"> ○山登り、森林ウォークラリー、ナイトハイク、ハイキング、キャンドルの集いを協力してやりとげる。(途中、感動を俳句や川柳に表す) ○その日の感想をしおりの中に日記として書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句や川柳をしたためた短冊や、就寝前に各自で書いた日記は、しおりに綴って残しておくようにさせる。 												
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○体験したことを振り返り、感動したことなど集団宿泊活動の感想を文章にまとめる。 ○まとめた文章をもとに、活動グループの中で、互いに感動したこと、仲間への思いや感謝などを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「感動したこと」、「感謝したこと」、「学んだこと」についてキーワードを書き出させ、それをもとに文章にまとめ、思いを込めて伝え合いをさせる。 												
(2)学校行事における言語活動	<p>学校行事で重視すべき言語活動は、事前にそのねらいや意義を踏まえて活動のめあてや活動計画を話し合っ決めて活動や、活動後に体験したことを振り返り、視点を明確にして言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動がある。学校行事を通して、このような言語活動の充実を図ることにより、体験したことをより豊かに表現する力や体験したことについて、思いを込めて伝える力を育成することができる。</p>													

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・特別活動において、第2の〔学校行事〕2(4)「遠足・集団宿泊的行事」、第3の2(4)「〔学校行事〕については、(中略)異年齢集団による交流、幼児、高齢者、障害のある人々等との触れ合い、自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。」を示している。

各種の学校行事における仲間体験や感動体験は、協力や思いやり、役割や責任などの大切さを心から実感することができる場であり、児童に強い印象として残ることが多い。しかし、せっかくの体験も、そのままでは流れて消えてしまうため、それらを言葉でまとめたり、発表し合ったり、伝え合ったりすることで、体験を通して学んだことを再認識することができる。

本事例では、その指導の一環として、集団宿泊活動で体験したことを3つの項目で振り返らせ、活動中の俳句や川柳、日記などを参考に伝えたいことを拾い出させてから文章にまとめさせた。また、それを互いに発表し合うことで、まとめたり、伝え合ったりする表現力を育成するとともに、遠足・集団宿泊的行事のねらいである「協力し合う人間関係」や「集団規律」などの大切さを実感させようとしたものである。

自然の家の活動で一番心に残っていることは何ですか。

わたしは、一番心に残っていることは二日目の北回り
ワークラリーです。なぜかというわたしは5人は、き
ついでと、動かなくなった人を先に引、ほり休けいごせ
たりケンカをしても仲直りをしたり みんな前のはんはどうせ
ぬけないと言、てしほ一んとなてもはけまし合、てうはんもめ
かしたりと、いろいろなことで助け合いはけまし合い、できた
からです。わたしは、このはんで、とて、も、とてよかったです。

自然の家の活動で見つけた友だちのいいところや友だちへの感謝を書きましょう。

わたしの痛みがきつくなると、いっしょにこかしてくれた。ありがとう。
*シーツをたたむのを手伝ってくれた。*持っていくものをいっしょにかくはんしてくれた。
*こはんのとき、おいしいねおいしいねと言、て作、て人ではなかつたけど、うれしかった。
*ナイトハイブで、わたしが井立きしていたとき二人の男の子と女の子がわたしを中にはこんでく
れた。*二日目の金峰山登山のとき、もうぐたぐたにな、て歩いていたとき、みんなつかひいてい
にはけましてくれた。*北回りワークラリーのとき5はんが、助け合いはけまし合、た。た
から5はんはよかったです。*みなみかつとい、て、みんなかいても一生けん命だった。
*出し物の練習、もうできないと思、たけれど、ノムノムカ、カインは、ていたことが、こか
自然の家の活動で自分が一番学んだことはどんなことでしたか。
*五分前行動をよく学びました。一人でも、おくれるとみんな待てい
る間、大変だから、すみませんでした。ただ、たいては、行動にもうつ
さなくて、いけないと分かりました。五分前行動をやることで、
時間を気にして周りを見、て行動するようになったし、とれだけ
時間が大切か、か分、て自分の中の色々なことが、交、わりました。
*友達との協力もよく学びました。今まで、家族がいるから安、バ、と
か思、ていたけれど、友達がいることで、心がかるくな、たりはけま
して、助け合、て、いろいろなことが、のりこえられること、を学びました。

【言語活動の充実の工夫】

- 体験したことを言葉でまとめる活動
- 体験したことを言葉で発表する活動

日記を参考に文章にまとめる表現活動

集団宿泊中に書いた日記や俳句などの言葉から特に伝えたいことを拾い出させ、「感動したこと」、「感謝したこと」、「学んだこと」に分けて文章にまとめさせた。

まとめた文章をもとに音声言語で思いを伝え合う活動

体験を通して感動したことや学んだことなどをグループ内で伝え合わせた。その際、自分がまとめた文章をただ読むのではなく、その思いを自分の言葉で声に出して、身振り手振りを加えながら伝え合わせるようにした。

聞き手には、反応をしながら聞くようにさせるとともに、「そのときどんな感じだった」などの質問や、「自分も同じような気持ちだった」などの感想を述べさせるようにした。



本事例においては、毎日書いた日記や俳句などをもとに活動後に文章でまとめ、音声言語も交えて伝え合う活動を行った。このような言語活動を充実させることは、学校行事を通して「自己の生き方についての考えを深める」という特別活動の目標の実現につながることから、運動会や学芸会など長期間をかけて創り上げる学校行事においても効果的である。